

令和7年9月の景色



ヌスビトハギ マメ科 ヌスビトハギ属

7～9月に淡いピンク色の花を咲かせる多年草。在来種。

武蔵台緑地では、武蔵台庭球場（テニスコート）の向かいなどで見ることができます。

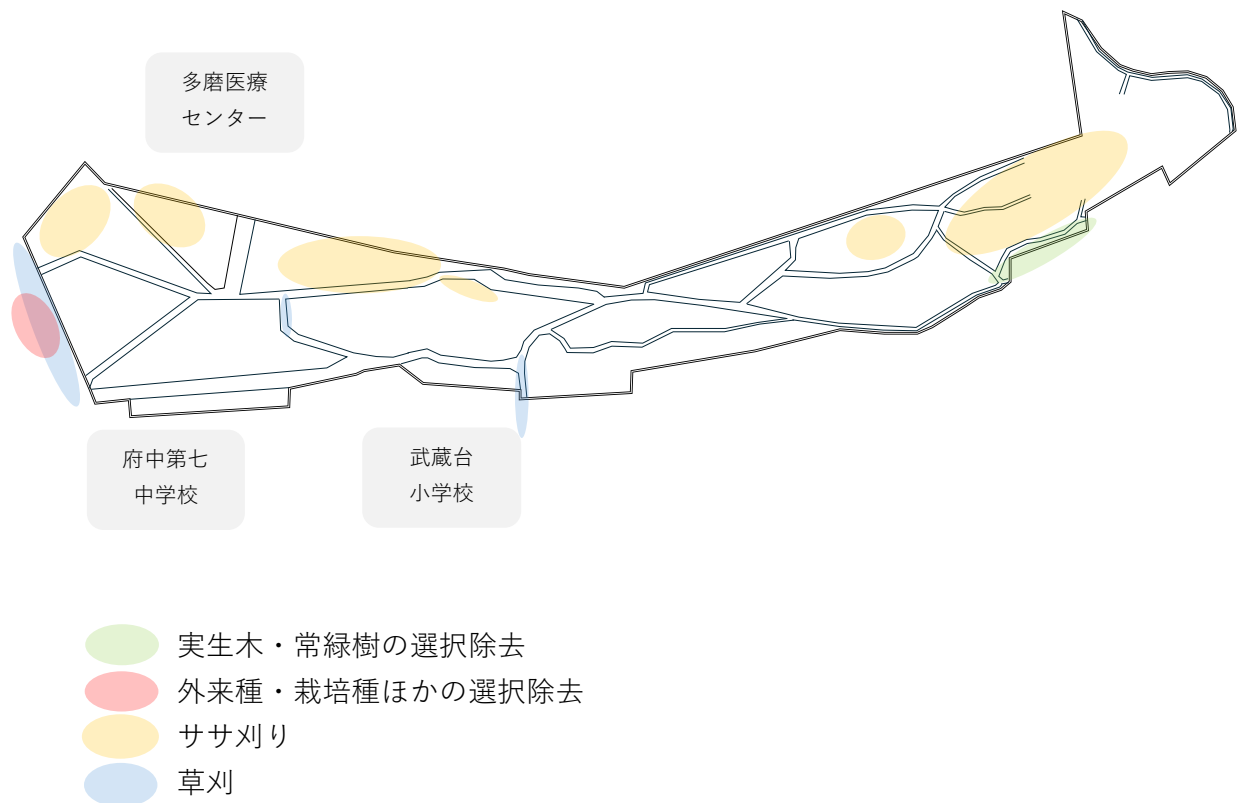
ひとつひとつの花はとても小さいですが、群生する姿は見事です。

少し似た姿をしているアレチヌスビトハギが同じ場所に生えていることもありますが、そちらは外来種であるため、選択的に除去しています。

業務の実施内容

- ・ 選択除草
- ・ ササ刈り
- ・ 実生木と常緑樹の選択除去
- ・ 草刈
- ・ 市民ボランティア等との協働
- ・ 巡回
- ・ 投棄物の回収清掃
- ・ 植物相調査、動物の観察

作業箇所図



外来種の選択除草

翌春に花を咲かせる草の葉が成長して、目立つようになってきました。
写真の植物は、ハルジオンです。地面にべったりと葉を広げた状態で冬を越します。
繁殖力が強いため、ハルジオンの葉だらけになってしまう場所もあります。
外来種であるハルジオンに、在来植物の生育場所を奪われないよう、選択的に根から除去しました。



抜き取ったハルジオン



ハルジオンがたくさん生えた草地

ササ刈り

武蔵台緑地の「植生管理ガイドライン」では、目標とするササ類の高さが示されています。それらの方針に沿って、ササ類を刈り取りました。

■ ササ類を選択的に刈り取るエリア



作業前



作業後

■ ササ類が腰丈を超えたら刈るエリア



作業前



作業後



作業前



作業後

実生木と常緑樹の選択除去

枯れてしまった大きなクヌギを伐採したため、空を見上げた時に樹木がない部分＝「林冠ギャップ」ができた場所です。このような場所では地面まで届く光の量が増えるため、明るい場所でいち早く成長する樹種（ここではクサギ）が伸びてきます。枝が横にも伸びて通行の支障となるのを予防するため、通路から一定幅の範囲においてクサギ実生木の除去をしました。



作業前



作業後

*実生木（みしょうぼく）とは…

風や鳥などに運ばれてきた種から芽生え、成長した樹木のこと。

「林冠ギャップ」については、「武蔵台緑地 植生管理ガイドライン」の19ページでくわしく解説されています。ぜひ読んでみてください。

ガイドラインは東京都府中市のホームページで見ることができます。

草刈

繁茂による通行支障の予防と、外来種の結実予防のため、草刈を実施しました。



作業前



作業後



作業前



作業後

巡回および投棄物の回収清掃

緑地内を巡回し、捨てられたごみを回収しました。飲食物の包装・容器は一年を通して目立つごみです。



市民協働

府中市環境調査員会議との協働 自然環境調査（植物班）

毎月1回開催される自然環境調査（植物班）に同行し、調査をしています。

調査日以外に見つけた生育場所・状況等については随時、情報提供をしています。

今月は小さなメドハギの花などを現地で観察しました。



メドハギ 花



ガマズミ 赤く色づき始めました

武蔵台緑地保全ボランティアとの協働

緑地整備活動に同行し、手入れ内容や方法についての助言や植物生育状況などについて情報提供をしています。

今月はヤマユリエリアでササ刈りをしました。根気よくササ刈りを続けてきています。

以前は背の高いササに隠れていたヤブランですが、手入れを続けてきたことで、きれいな花がよく見えるようになりました。



植物相調査

こまめに調査をし、毎月1回の自然環境調査では確認していない時期や場所の状況を記録しています。また、植物分類の専門家を招いての調査も実施しています。



マメ科の落葉低木
「東京都レッドデータブック（本土部）
2023」
北多摩地域では絶滅危惧Ⅱ類とされる。

緑地内ではごく少数のみの確認



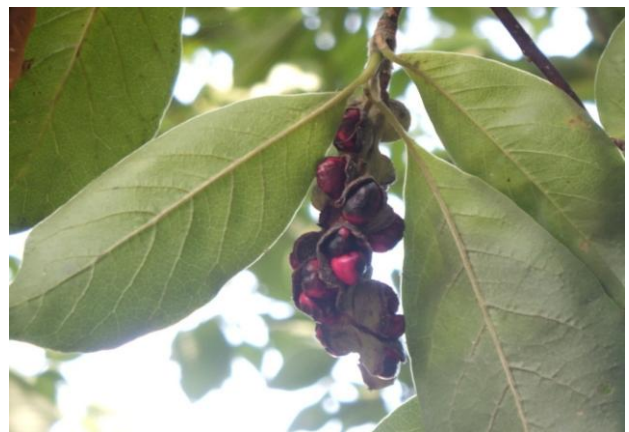
アキノノゲシ 背の高さを超えるほど伸びます



アキノノゲシ 花



ガガイモ 花



コブシ 裂けた さやと赤い実